

重要港湾三池港の早期の整備完了と公共工事の効率化



自由民主党市議団
中原 誠悟 議員

三池港の
整備状況について

問 重要港湾三池港は、有明海沿岸地域の企業の様々なコンテナを扱っており、有明海沿岸道路の佐賀県までの延伸で、アクセス性が向上し、物流の効率化が図られている。

令和4年度の港湾計画の変更で小型船だまりを航路先端から内港地区に見直しており、令和5年6月議会では、令和5年度は詳細設計を行っているとの答弁がなされた。

現時点で、現地作業が進んでおらず、地元からは使い勝手がよい施設として早期の完成を望む声も上がっている。

詳細設計の進捗や現地の着手状況はどうなっているのか。

答 福岡県が行っている小型船だまりの整備は、令和5年度から詳細設計に着手し、令和4年度に利用者の意見が反映された詳細設計が完了したと伺っている。

令和7年度は、整備着手に向けた手続などが行われる。本市としても、早期完成に向けて協力していきたい。

再発言 港の利用者も早期整備を望んでいることから、福

岡県や関係者と連携して進めてもらいたい。



重要港湾 三池港

公共工事における
工事関係書類の
簡素化について

問 公共工事は、社会インフラとして高い品質と安全性が求められ、その整備や維持・管理の担い手は、主に建設業者である。また、建設業者は、災害時に地域の守り手にもなり、市民生活や社会経済を支える重要な役割を担っている。

しかし、建設業界を取り巻く環境は厳しく、熟練工の高齢化や若者の業界離れなどで、担い手の確保が喫緊の課題となっている。

令和6年12月議会において、工事関係書類の簡素化は、福岡県の土木工事関係書類の簡素化の手続を参考に進めており、今後も県や他自治体の取組を参考に進めるとの答弁がなされたが、進捗状況は。

答 工事関係書類の簡素化は、事業者、市の双方にとって事務軽減につながることから、今後も可能な範囲で進める必要があると考える。

簡素化に伴う課題や対応策を整理した上で、さらなる簡素化を取りまとめ、令和8年度から実施したい。

再発言 工事関係書類の簡素化は、事務の軽減に加え、労働時間の短縮につながり、担い手の確保に大きく寄与するものと考えている。

品質と確実な出来形の確認のため、必要な書類はしっかりと確保することを前提として、取組を進めてもらいたい。

工事完成書類の
電子納品について

問 工事完成図書の電子納品は受注者の負担軽減、市の書類削減などメリットがあり、県内自治体の一部工事で実施されている。

以前の議会で、検討会を設置し、課題等を整理した上で検討を進めるとの答弁がなされたが、進捗状況は。

答 電子納品は、受注者、市の双方の負担軽減と生産性向上につながるため、しっかり取り組んでいく必要がある。

令和7年5月に関係部局との検討会を立ち上げるとともに、受発注者間の電子でのやり取り等を可能にするための情報共有システムの活用に向けた研修会にも参加している。

今後、検討会で課題を整理した上で、可能なものから令和8年度から実施したい。

再発言 工事完成図書の電子納品は、課題も多いと思うが、受注者、市の双方の負担軽減や生産性向上につながるものであることから、早期に課題等を整理し、可能なものから順次実施してもらいたい。